

まちづくりへの貢献に感謝

岡垣町表彰規程に基づく表彰

町では、長年にわたりさまざまな分野で活躍し、まちづくりに貢献された皆さんを表彰しています。

今回は、環境審議会委員として20年間ご尽力いただいた、神谷貞夫さん(上高倉区)が表彰されました。おめでとうございます。

神谷さんには、門司町長から表彰状と記念品料が贈られました。



ウクライナへの思いを込めて

4/6 岡垣電気設備工事組合が救援金を寄付

ウクライナへの救援活動を支援するため、岡垣電気設備工事組合が10万円の救援金を義経副町長に手渡しました。岡垣電気設備工事組合の方は「岡垣町で避難民を受け入れるときにも、ぜひ支援したい」と話してくださいました。

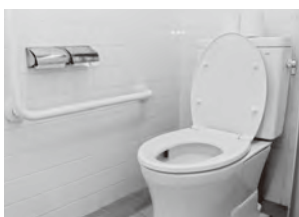
この救援金は、日本赤十字社を通じてウクライナへの救援活動に役立てられます。

みんなのトイレが便利で清潔に

3/30 金毘羅山入口の公衆トイレが洋式化

「金比羅山を愛する会」に所属する竹井信正さん(東松原区)が中心となって町に要望し、金毘羅山入口にある公衆トイレが洋式トイレになりました。

毎日欠かさず、金比羅山付近を散歩するという竹井さん。「公衆トイレの利用者の中には、足が不自由で和式トイレが使いづらい人も多くいます。皆さんの喜ぶ声が聞けて、私もうれしいです」と笑顔で話してくださいました。



きれいに咲かせよう 「人権の花」

4/27 「人権の花運動」ひまわりの種贈呈式

人権の花、「ひまわり」。今年度は、戸切小学校の3・4年生が人権の花運動に取り組みます。

ひまわりの種などは、人権擁護委員と人権教育推進協議会から贈呈されました。また、人権擁護委員の皆さんが紙芝居を交えて、人権の大切さを子どもたちに伝えました。

子どもたちはこれから、きれいな花が咲くようにひまわりを大切に育てていきます。ひまわりを育てることを通じて、相手の立場を思いやる気持ちや命を大切に作る心が身に付くことでしょう。





人権の大切さを考えよう

4/22 人権擁護委員が町長を訪問

人権擁護委員は、人権相談の受け付けや人権への関心を持ってもらうための啓発活動が無報酬で行っていて、約 14,000 人が全国の市町村で活躍しています。

訪問当日、委員の皆さんは日ごろの活動内容のほか、6月2日(休)に東部公民館で行う「特設人権相談」などについて、門司町長に説明していただきました。今後も、人権を尊重し合うことの大切さを認識し、偏見や差別のない世の中の実現を目指しましょう。

- ①お父さん・お母さんと、桜の木の下で記念に1枚
- ②保護者が見守る中、凛々しい姿で式典に臨んだ
- ③校庭で新しい仲間との写真撮影を楽しむ子どもたち
- ④新入生代表として、入学に向けての決意を表明
- ⑤厳かな式典の雰囲気、子どもたちは少し緊張している様子
- ⑥学級活動中のクイズでは、笑顔で手を上げる子どもたちの姿が見られた
- ⑦「新入生、起立!」の号令に、元気よく立ち上がる子どもたち



出会いの季節、到来——。

4/8 町立中学校入学式 4/12 町立小学校入学式

今年は小学生275人、中学生314人、合計589人の子どもたちが入学式を迎えました。感染症対策のため、短縮しての開催となった式典。初めての環境に少し緊張した様子の子供たちでしたが、式典後は教室でクラスメートとの交流を深め、新たな生活へのスタートを笑顔で切りました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。